

令和 2 年 5 月 14 日現在

機関番号：84603

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K02342

研究課題名(和文) 染織技法による仏像の研究

研究課題名(英文) Research of the Buddhist Tapestry and Embroidered Imagery

研究代表者

内藤 栄 (Naito, Sakae)

独立行政法人国立文化財機構奈良国立博物館・その他部局等・部長

研究者番号：40290928

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：日本で作られた刺繍や綴織などの染織技法による仏像をについて、その意義や価値を研究した。研究成果は作者の国籍の問題、製作された時代など個々の作品に関することから、日本の繡仏(刺繍の仏像)、織成仏(綴織の仏像)の位置付け、時代ごとの変遷に及んだ。研究方法は刺繍や織物の専門家の協力を得た技法研究、科学分析による染料の特定作業、目視による図像研究、文献資料による歴史研究、海外作品との比較など多岐にわたった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまでほとんど計測されることのなかった古代の繡仏の染料を計測した。大きな成果は紫色の染料であり、7世紀後半から紫根が登場すること、それ以前は茜を用いていたことがわかった。制作年代について論争のある国宝・天寿国繡帳(奈良・中宮寺所蔵)からは紫根が検出されず、7世紀前半の作である可能性が高まった。また、図像や刺繍の技法より、国宝・刺繍釈迦如來說法図(奈良国立博物館所蔵、京都・勸修寺伝来)が7世紀後半の日本で制作された可能性が高いことも指摘した。いずれも日本を代表する繡仏作品であり、日本の仏教美術研究に大きな一石を投ずるものである。

研究成果の概要(英文)：This research considers the meaning and significance of devotional Buddhist images produced in Japan using such techniques as embroidery and hand-woven brocade. It pursues questions surrounding a selection of these devotional works, including the nationalities of their makers and the dates of their production, in turn shedding light on the stature of embroidered and tapestried Buddhist images at various points in their histories. It was a multidisciplinary project that encompassed a range of methods: studying production techniques through collaboration with embroidery and textile specialists; identifying dyes through scientific analysis and interpreting iconography through visual analysis; using written materials to situate works in their historical contexts; and exploring cross-cultural connections by engaging works produced outside of Japan.

研究分野：日本美術史

キーワード：繡仏 織成仏 当麻曼荼羅 天寿国繡帳 刺繍釈迦如來說法図 刺繍 綴織 髪繡

1. 研究開始当初の背景

わが国には刺繍や綴織に代表される染織技法を用いた仏像表現が盛んであった。しかし、現存する作品数が少ないこともあり、仏像や仏画の研究に比べれば研究者数、研究論文数は圧倒的に少ない。そのため、刺繍の仏像(繡仏)や織物の仏像(織成像)はマイナーな作品と認識され、十分な研究が行われてこなかった傾向がある。幸い、研究代表者が所属する奈良国立博物館はこの種の作品に対する研究の蓄積がある。この利点を生かし、当該分野の専門家や科学研究の技師を集め、研究を進展させることを計画した。また、刺繍の技法については、地域によって呼称や作法が異なることがあり、かつ技法が解明されていないことも多い。少なくとも研究者間における統一をはかる必要があるかと思われる。さらに、近年染料の材料調査に関する光学調査が飛躍的に進歩しており、従来では不可能であった研究ができる環境が整ってきている。

2. 研究の目的

目的は次の4点に集約することができる。

- (1) 作品の所在確認・・・繡仏、織成像の作品の所在先、状態を確認し、写真、所データを集積する。研究者がそれらを蓄積するだけでなく、奈良国立博物館など公的機関においても集積されるように配慮し、多くの研究者や一般の人でも利用できるようにする。
- (2) 科学調査・・・近年、有機質の成分調査が飛躍的に進展し、染料分析を行うことが可能となった。染料調査のデータを蓄積し公開することで、当該分野の調査進展を図る。
- (3) 個々の作品の研究・・・わが国の代表的作品である、天寿国繡帳(国宝、中宮寺所蔵、飛鳥時代)、刺繍釈迦如來說法図(国宝、奈良国立博物館所蔵、飛鳥時代)、綴織當麻曼荼羅(国宝、當麻寺所蔵、唐または奈良時代)の研究を行う。特に、作者の国籍と製作年代の問題を取り上げる。
- (4) 論考の執筆・・・染織技法による仏像の大まかな時代的な系譜を考察し、概論を準備する。一方、科学調査のデータ公開とその検討、新資料の紹介等も随時行う予定である。

3. 研究の方法

研究対象はわが国及び東洋の繡仏や綴織像が中心である。研究方法は目視による調査及び写真撮影、光学調査(蛍光エックス線、可視分光分析、赤外線撮影、高精細画像撮影等)、刺繍や織物などの染織技術者、修理技術者との意見交換、文献資料等に基づく歴史的考察、海外調査による比較検討である。

4. 研究成果

研究成果のうち、主要なものを挙げることにする。

(1) 日本古代の繡仏について

染料調査によって、飛鳥時代(7世紀)における紫の染料に茜と紫根があることがわかった。この使い分けを時代差と考えると、飛鳥時代前期は茜を用い、後期には紫根を用いた可能性が考えられる。今回の調査で重要な作品である天寿国繡帳(中宮寺所蔵)は、茜を用い

ており、同作品の製作年代を聖徳太子が没した622年直後とする伝承の正しいことがわかった（飛鳥時代後期説もあるが、今回の調査で見直しが必要であることがわかった）。

また、刺繍釈迦如來說法図（奈良国立博物館）の鎖繡（くさりぬい）技法が、これまで海外の作品の特徴と考えられてきたが、飛鳥時代後期から奈良時代にかけて見られることが判明し、また図像的にも国内産と考えるほうが妥当であると判断し、国産説を提唱した。同作品の図像が法隆寺金堂壁画と近似することを指摘されていたが、近年この壁画のガラス原板のデジタル化などにより詳細なデータが手に入ることが可能となり、それを用いて検討を行い国産説の傍証とした。

（２）染料調査

宮内庁正倉院事務所の協力によって、飛鳥時代の作品を中心に染料調査を行った。その成果は（１）に述べた紫色の染料の問題や、紅花に使用の問題などいくつかの新たな問題を生み出した。詳細な検討は今後にまとめる必要があるが、広く研究者の利用に供するためデータの公開を行った。

（３）概論の執筆

個々の作品の研究を踏まえ、染織技法による仏像の全体像を把握するべく、概論の執筆を行った。概論では飛鳥時代から江戸時代までの日本における当該作品の歴史を考察し、年表の作成、技法紹介を行った。さらに、海外の作品との比較も主に中国作品との対比を行い、日本の当該作品の特質を考えた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 0件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

| | |
|--|------------------|
| 1. 著者名 内藤 栄 | 4. 巻 未定 |
| 2. 論文標題 刺繍釈迦如來說法図（奈良国立博物館所蔵）について | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 未定 | 6. 最初と最後の頁 未定 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|------------------|
| 1. 著者名 内藤 栄 | 4. 巻 未定 |
| 2. 論文標題 刺繍釈迦如來說法図（奈良国立博物館所蔵）の修理について | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 未定 | 6. 最初と最後の頁 未定 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

| 氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号） | 所属研究機関・部局・職 （機関番号） | 備考 |
|---------------------------|-----------------------|----|
|---------------------------|-----------------------|----|